

平成27年度第11回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成28年2月15日（月）10時00分～11時05分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	古賀 実
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	堤 裕昭
総合管理学部長	黄 在南
地域連携・研究推進センター長	松添 直隆
学術情報メディアセンター長	半藤 英明
文学研究科長	鈴木 元
熊本日日新聞社新聞博物館長	平野 有益
昭和女子大学名誉教授	渡辺 満利子
熊本県公立高等学校長会会長	宮崎 功
オブザーバー：環境共生学研究科長	福島 英生
オブザーバー：アドミニストレーション研究科長	荒木 紀代子

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、福島地域連携・研究推進センター事務長、坂本学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課福永班長

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成28年度入学者選抜における合格者の決定について

1）大学院文学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「文学研究科日本語日本文学専攻博士前期課程は、春季募集2名に対して、5名が志願、受験した。文学研究科英語英米文学専攻博士前期課程は、春季募集2名に対して、4名が志願、受験した。文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程は、春季募集人員1名に対して、2名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、文学研究科長から、資料1-2に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程について、一般選抜に志願、受験した1名は基準点を上回っているため合格としたい。外国人留学生特別選抜に志願、受験した3名は、全員が基準点を下回っているため不合格としたい。専門職業人特別選抜に志願、受験した1名は基準点を上回っているため合格としたい。英語英米文学専攻博士前期課程については、一般選

抜に志願、受験した2名のうち基準点を上回っている1名と専門職業人特別選抜に志願、受験した1名及びシニア特別選抜に志願、受験した1名の合わせて3名を合格としたい。英語英米文学専攻博士後期課程は、志願、受験した2名について、基準点を上回っているので2名とも合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-3に基づき、「環境共生学研究科博士前期課程は、春季募集若干名に対して、5名が志願、受験した。環境共生学研究科博士後期課程は、春季募集3名に対して、2名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、環境共生学研究科長から、資料1-4に基づき、「博士前期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した3名と外国人留学生特別選抜に志願、受験した1名の合わせて4名を合格としたい。博士後期課程については、志願、受験した2名について、基準点を上回っているので2名とも合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院アドミニストレーション研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-5に基づき、「アドミニストレーション研究科博士前期課程は、秋季募集及び春季募集を合わせて募集20名に対して、春季募集には13名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、アドミニストレーション研究科長から、資料1-6に基づき、「博士前期課程については、一般選抜に志願、受験した1名と社会人選抜に志願、受験した12名のうち基準点を上回っている11名の計12名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 私費外国人留学生入試

事務局教務入試課から、資料1-7に基づき、「私費外国人留学生入試は、各学科若干名の募集に対して、環境資源学科に1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、環境共生学部長から、資料1-8に基づき、「志願、受験した1名について、基準点に満たないので不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 教員の採用に係る枠取りについて

1) 英語学

事務局総務課から、資料2-1に基づき、「文学部における英語学を専門分野とする准教授または講師1名の枠取りである。枠取りの理由は、退職教員の補充であり、平成29年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて文学部長から、「英語運用能力向上のためのカリキュラムを充実させるという学科の中・長期的方

針に基づき、英語学という軸を維持しつつ、高度な英語運用能力を持った英語運用プログラムにも大きく貢献しうる人材が求められる。また、全学共通教育における英語運用能力の向上という目標の達成のためにも大きく貢献しうる人材が求められており、採用をお願いしたい。准教授または講師としての採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 教育心理学

事務局総務課から、資料2-2に基づき、「文学部における教育心理学を専門分野とする准教授1名の枠取りである。枠取りの理由は、退職教員の補充であり、平成29年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて文学部長から、「本人事は、教職課程を有している都合上、欠員期間が存在することが許されないものである。本採用者は、本学の教職に関する科目を担当し、教職課程の運営全般を担当する、更に、心理学等の文学部専門領域及び全学共通科目を担当し、学生の指導に当たるため、現職教員の退職後、間が開くことなく採用をお願いしたい。准教授の採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 学部長、研究科長、地域連携・研究推進センター長、学術情報メディアセンター長及び学科長・コース長の選考（案）について

事務局総務課から、資料3に基づき、「平成28年3月をもって、現在の学部長、研究科長、地域連携・研究推進センター長、学術情報メディアセンター長及び学科長・コース長の任期が満了となるのに伴い、文学部長に砂野幸稔 現、文学部長の再任を、環境共生学部長に松添直隆 現、地域連携・研究推進センター長を、総合管理学部長に黄在南 現、総合管理学部長の再任を、文学研究科長に鈴木元 現、文学研究科長の再任を、環境共生学研究科長に北原昭男 現、環境共生学部教授を、アドミニストレーション研究科長に宮園博光 現、総合管理学部情報管理コース長を、地域連携・研究推進センター長に堤裕昭 現、環境共生学部長を、学術情報メディアセンター長に村尾治彦 現、文学部英語英米文学科長を、日本語日本文学科長に米谷隆史 現、文学部教授を、英語英米文学科長にレイヴィン リチャード 現、文学部教授を、環境資源学科長に石橋康弘 現、環境共生学部教授を、居住環境学科長に辻原万規彦 現、環境共生学部教授を、食健康科学科長に白土英樹 現、食健康科学科長の再任を、パブリック・アドミニストレーションコース長に進藤三雄 現、総合管理学部教授を、ビジネス・アドミニストレーションコース長に森美智代 現、総合管理学部教授を、情報管理コース長に飯村伊智郎 現、総合管理学部教授を、地域・福祉ネットワークコース長に荒木紀代子 現、アドミニストレーション研究科長を選考した。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

また、同時期に任期満了となるキャリアセンター長に松本直幸 現、キャリアセンター長の再任を、保健センター長に荒木紀代子 現、アドミニストレーション研究科

長を指名したとの報告があった。

④ 平成２８年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料４に基づき、平成２７年度非常勤講師採用について、第１０回教育研究会議（平成２７年１２月２１日開催）時点で未定であったものについて採用案の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

（２）報告事項

① 平成２８年度一般入試の出願状況について

事務局教務入試課から、資料５に基づき、各学部学科の前期日程、後期日程毎の志願者状況、志願倍率及び前年度からの増減数について説明があった。

また、平成２２年度からの出願状況の推移、平成２８年度センター試験科目別の平均点、都道府県別のセンター試験出願者数の増減、他大学の出願状況について報告があった。

４ その他

次回日程 平成２７年度第１２回 ３月４日（金）午前１１時～本部棟２階大会議室

５ 閉 会